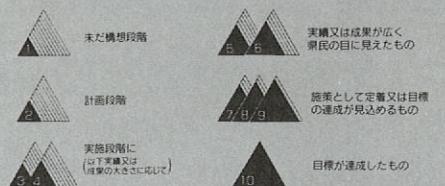


明日へのシナリオ 100のターゲット

〈100のターゲットの中から、20項目を抜粋しました。〉

*進捗度はおおむね次の考え方で評価したものです。

△内、達成率(10段階)



●高付加価値農業の育成

■新農業自立運動の推進

- ・生産性の高い農業の実現をめざし、農業者が自ら考え、行動する活動を積極的に支援します。

■流通体制の近代化

- ・新鮮でおいしいものを産地から消費者の元へ。熊本の「うまかもん」を全国に広げ、流通の改善を図っています。

■うまい米づくり

- ・かつて名聲を博した肥後米の復権に向けて、おいしい米づくりと消費者のニーズを先取りした加工米の開発に取り組みます。

●経済のソフト化への対応

■国際交流の推進

- ・"ホームステイカントリー 熊本づくり"や姉妹都市交流の多方面にわたる展開など、国際化施策はいま確かな歩みを進めています。

■テクノポリス計画の推進

- ・全国のトップレベルを行く熊本テクノポリス。その拠点となるテクノリサーチパークや研究機関の整備、テクノ大学の拡充など着実に進展しています。



テクノポリスセンター

■企業誘致の促進

- ・熊本は企業誘致の優等生で昭和57年7月以降、171社が立地しています。レジャー関連企業の誘致と工業団地の造成を進めます。

●アメニティの先進県（文化・緑・景観）

■文化振興基本条例の制定・推進

- ・先人が残した文化をはぐくみ、更に新しい文化を興し次代に引き継ぐことは、私達の使命です。その道しるべとなるのが文化振興基本条例です。

■くまもと緑の三倍増計画の推進

- ・昭和60年から10年の間に、県土全体の緑を3倍にしようとする計画。緑を創り、守り、広めるという觀点から、公共施設等それぞれの緑化目標に基づき推進しています。



緑の少年団

●モデル的な地域福祉社会の建設

■在宅福祉の充実

- ・お年寄りや体の不自由な方が自宅でも安心して暮らせるよう、デイサービス事業（施設の通所利用）ホームヘルパー（家庭介護人）の派遣等の事業を充実させます。



地域福祉

■国際医療交流の促進

- ・財団法人国際医療交流センターを設立。開発途上国への医療技術協力や特殊疾病の研究等を通して、地域からの国際交流を促進します。

•特集•くまもと 100

ご存知ですか!?こんな100、あんな100。

お陰さまで、「くまとの風」も今回で100号。第1号は昭和47年8月「暮らしと県政 熊本」として発行されました。以来、昭和58年「県政 熊本」、59年「くまとの風」と、広く県民のみなさんから愛され親しまれてきました。

そこで今回は、100号を記念して、“くまと100”をテーマにいろんな情報をピックアップ。新たな熊本の魅力を探ってみました。

●市町村数

100

熊本県は市町村数98。全国第5位。ちなみに第1位は北海道の212市町村。

●国指定文化財件数

100件

熊本には101件の国指定文化財があります。なお、熊本県内にある文化財総数は2264件。



●総面積

100km²の町（砥用町）

全県7407km²の中、砥用町は総面積101.75km²県内24番目の広さ。なお県内No.1の面積を誇るのは、矢部町の296.39km²。

●水源が地下水・湧水

100%

熊本県はきれいで豊富な水で有名です。水道の水源を地下水・湧水に100%依存しているのは、熊本市をはじめ54市町村です。

●漁港数

100港

本県最大の漁港牛深港をはじめ、県内には、105の漁港が点在。全国第8位の漁港数を誇ります。

●マイタッチ計画

公立小・中・高校のパソコン普及率

100%

3年前から始まった熊本型情報教育「マイタッチ計画」。各校に配置されたパソコンによる情報教育は、着実に成果を実らせています。

●県内のトンネル個数

100コ

九州山地のある熊本県は、トンネルの数も多く、総計99コ。今年は県内で最も長いトンネル、肥後トンネルも完成。ちなみにいちばんトンネルが多い道路は、国道265号線（～蘇陽町・高森町・一の宮町）の11コ。



●県立図書館図書収蔵能力

100万冊

100万冊の図書収蔵能力を持つ図書館は、熊本近代文学館を併設し、県内の地域文化の拠点。



●県内で 100才以上の方

現在、県内で100才以上の方は、玉名市の中林エツさん（107才）はじめ、74人の方々です。

●文化財指定件数

100件の市（宇土市）

宇土市の文化財指定件数は106件。八代市169件、熊本市142件に次ぐ第3位の保有件数。陸海交通の要衝として栄えた宇土市らしく、宇土城跡など数々の文化財に彩られています。



●矢部町通潤橋が開いた水田

100ha

安政元年（1854）に完成した通潤橋。矢部手永惣庄屋布田保之助が水に恵まれぬ白糸台地日向村のため架けた通水橋。水量は日に約15,000トン。開拓された新田は約100ヘクタール。

参考資料
●63年熊本県統計年鑑
●熊本県地域統計情報
●その他関係機関から
●平成元年3月発行
●タイトルの「100」は実質的に98～100と表しました。
●63年熊本県統計年鑑
●熊本県企画開発部統計
●平成元年2月刊行

までの数を大まかに